

2017年3月期第1四半期 決算説明資料

2016.7.28

TIS株式会社

Copyright © 2016 TIS Inc. All rights reserved.

(2016年7月28日開催 アナリスト向け決算説明電話会議 プレゼンテーション要旨)

- ・TISの柳井です。7月1日にITホールディングスから体制変更・社名変更をして初めての決算発表となりますが、引き続きよろしくお願いいたします。

2017年3月期第1四半期 業績概要

2017年3月期 業績見通し

参考資料

- ・それでは、本日15:30に発表いたしました、当社の第1四半期決算の内容につきまして、決算説明資料を使って説明させていただきます。

2017年3月期第1四半期 業績ハイライト

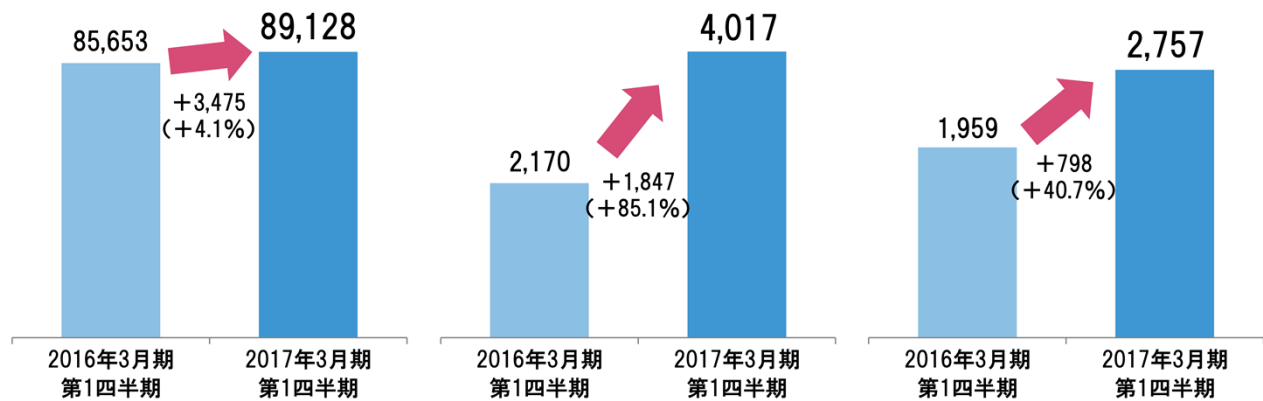
(単位:百万円)

・好調な事業環境を背景に、事業拡大や収益性改善の取組み等により、前期比増収増益。

売上高 89,128百万円
前年同期比 +3,475百万円(+4.1%)

営業利益 4,017百万円
前年同期比 +1,847百万円(+85.1%)

親会社株主に帰属
する四半期純利益 **2,757**百万円
前年同期比 +798百万円(+40.7%)



IT投資が強まりを見せる分野において顧客ニーズを的確に捉えたこと等が牽引し、前年同期比増収。

増収効果や収益性向上の取組みの進展等により、前年同期比増益。

営業利益の増加等に伴い、前年同期比増益。

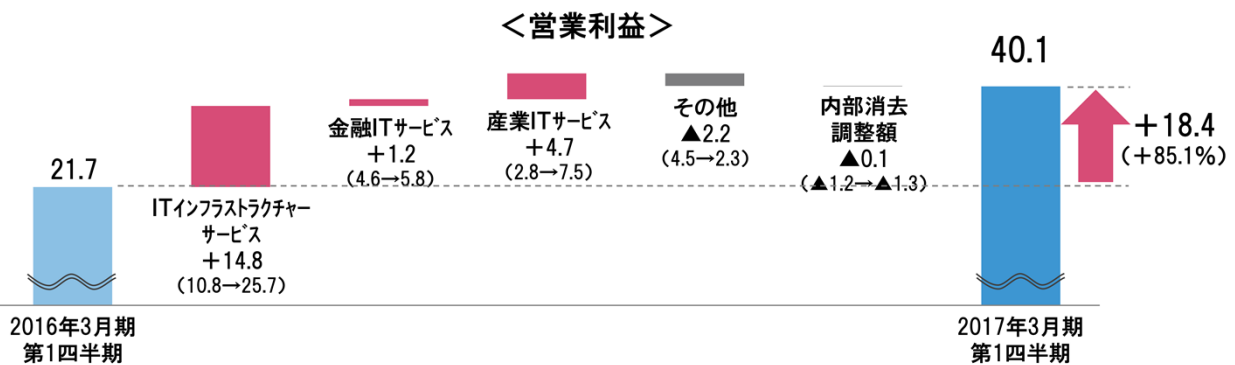
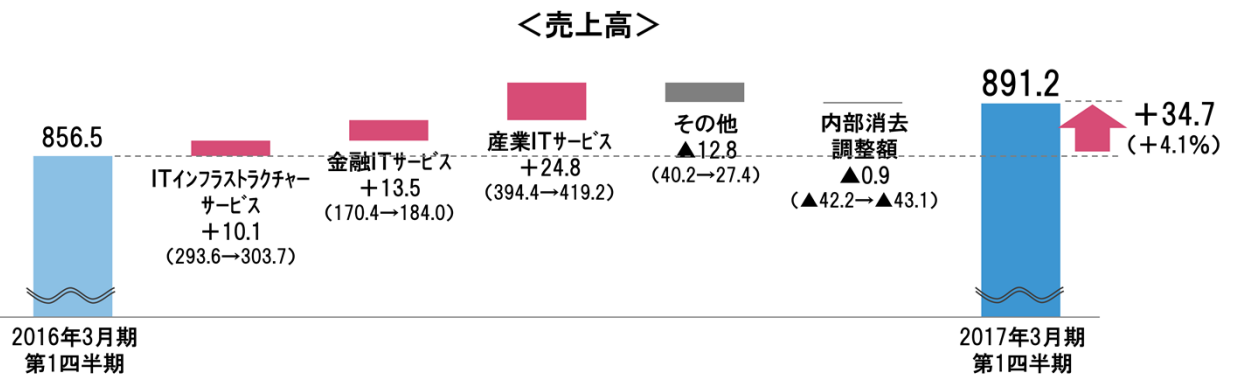
Copyright © 2016 TIS Inc. All rights reserved.

3

- ・当第1四半期の業績は前年同期に比べて増収増益となりました。出足好調だったと考えています。
- ・売上高は、好調な事業環境を背景に891億円となり、前年同期比で34億円・4.1%の増収となりました。
- ・利益面は、営業利益が前年同期比18億円・85%増の40.1億円、親会社株主に帰属する四半期純利益が前年同期比8億円・40.7%増の27.5億円となり、大幅増となりました。
増益の要因については、増収効果に加え、収益性向上・生産性向上の取組みが成果として表れたものと考えています。
- ・なお、当第1四半期における不採算案件は、前年同期からやや増加の約10億円でした。

2017年3月期第1四半期 売上高・営業利益増減分析

(単位:億円)



Copyright © 2016 TIS Inc. All rights reserved.

4

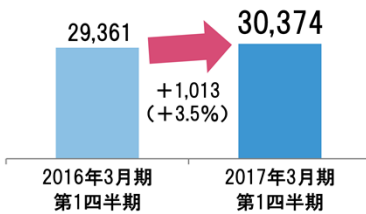
- ・セグメント別の状況についてご説明します。今回、主要3セグメントの全てで前年同期比増収増益となりました。
- ・ITインフラストラクチャーサービスは、データセンター事業の安定的な推移、M&A効果を含むBPO事業の拡大に加え、データセンターの集約等の効率化施策の推進によるコスト削減も進み、前年同期比増収増益となりました。
- ・金融ITサービスについては、クレジットカードを中心とした大型プロジェクト等も入り、事業拡大ができたことから、前年同期比増収増益となりました。
- ・産業ITサービスについては、前期に続いてエネルギー系顧客のIT投資が活発であることや、公共系大型案件の寄与もあり、事業拡大ができたことに加え、収益性向上に向けた取組みが進展したことで、前年同期比増収増益となりました。

2017年3月期第1四半期 主要セグメント別損益状況

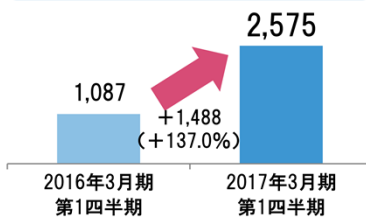
(単位:百万円)

<ITインフラストラクチャーサービス>

売上高 30,374百万円
前年同期比 +1,013百万円(+3.5%)



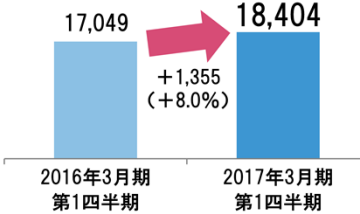
営業利益 2,575百万円
前年同期比 +1,488百万円(+137.0%)



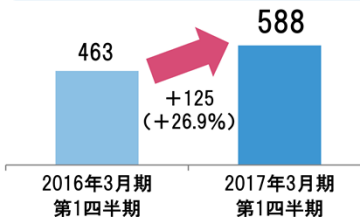
データセンター事業の安定的な推移、M&A効果を含むBPO事業の拡大に加え、効率化施策の推進によるコスト削減等により、前年同期比増収増益。

<金融ITサービス>

売上高 18,404百万円
前年同期比 +1,355百万円(+8.0%)



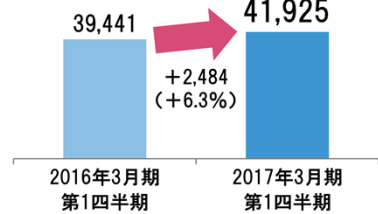
営業利益 588百万円
前年同期比 +125百万円(+26.9%)



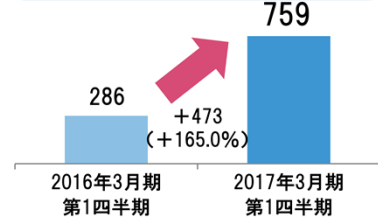
クレジットカードを中心とした顧客のIT投資拡大の動きに伴う事業拡大等により、前年同期比増収増益。

<産業ITサービス>

売上高 41,925百万円
前年同期比 +2,484百万円(+6.3%)



営業利益 759百万円
前年同期比 +473百万円(+165.0%)



電力・ガスシステム改革に伴うエネルギー系顧客の活発なIT投資の継続や公共系大型案件の寄与等による事業拡大に加え、収益性向上に向けた取組みの進展等により、前年同期比増収増益。

Copyright © 2016 TIS Inc. All rights reserved.

各セグメントの売上高はセグメント間の売上高を含んだ数値です。

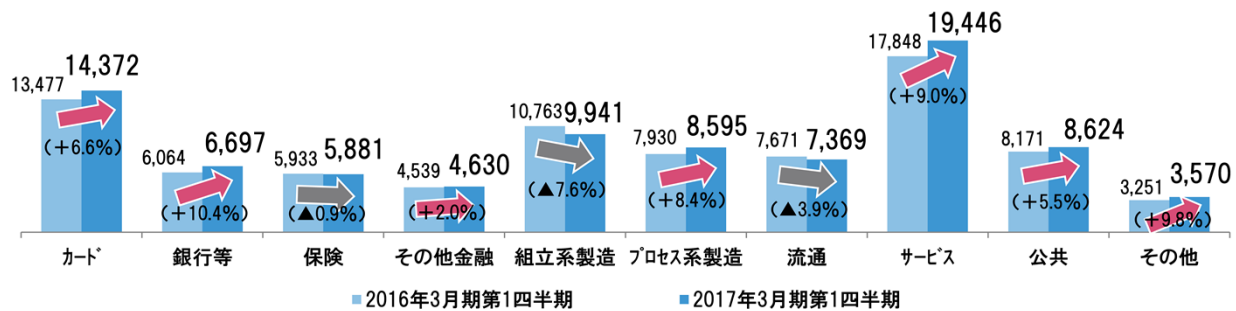
5

(説明省略)

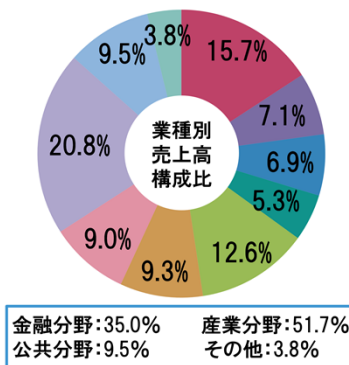
2017年3月期第1四半期 業種別売上高

(単位:百万円)

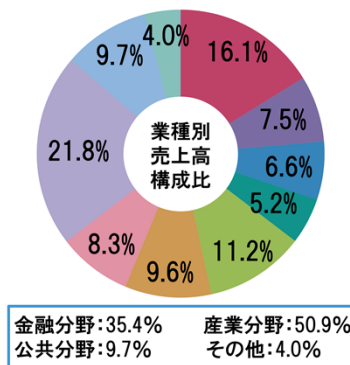
※当期より一部顧客の業種区分を見直しています。前期の数値は見直し後の数値に変更しています。



<2016年3月期第1四半期>



<2017年3月期第1四半期>



Copyright © 2016 TIS Inc. All rights reserved.

6

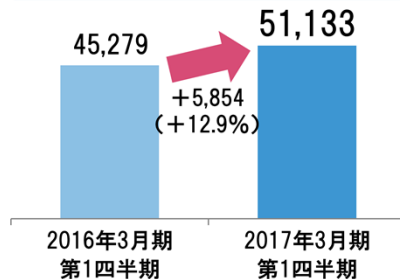
- ・業種別売上高の状況について、先行きの景況感にも少し触れながらご説明します。
- ・グラフ左側の金融系ですが、カード系の顧客は、大型案件の開始もあり規模拡大ができていことに加え、それ以外でも新しい商品やサービスの開発、それを支える基盤の増強等、いろいろと引合いをいただいております、好調です。一方、銀行や保険は、少しまだ模様なところがあります。一部の顧客においてはマイナス金利等の影響もあり、IT投資に対して慎重な姿勢も見られますが、一方で、国内預金・情報系の体制拡大や新技術の活用を中心とした戦略を打ち出し、IT投資意欲に旺盛な顧客もいる状況です。
- ・グラフの中央から右側が産業系ですが、製造業の顧客は、一部で景況感の先行き不透明さを受けて少し慎重な姿勢が見られています。また、流通の顧客は、消費税増税の延期やインバウンド消費の一服感もあり、景況感に関しては横這いという形で見ています。サービスに関しては好調であり、公共系も比較的多くの引合いをいただいているという状況です。

2017年3月期第1四半期 受注状況

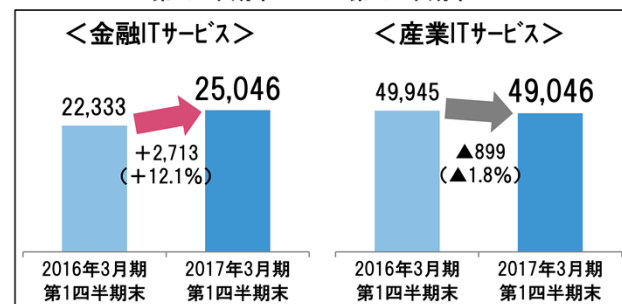
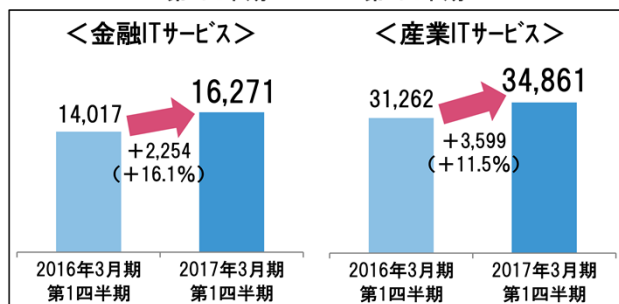
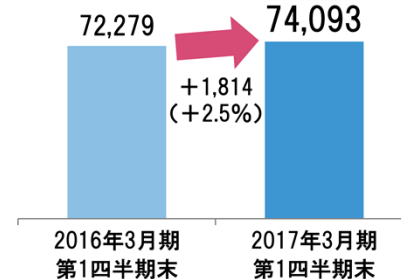
(単位:百万円)

・好調な事業環境を背景に、金融ITサービス・産業ITサービスとも好調に推移。
(金融ITサービスはカードが牽引、産業ITサービスはエネルギー系が好調継続)

当期受注高 51,133百万円
前年同期比 +5,854百万円(+12.9%)



期末受注残 74,093百万円
前年同期比 +1,814百万円(+2.5%)



Copyright © 2016 TIS Inc. All rights reserved.

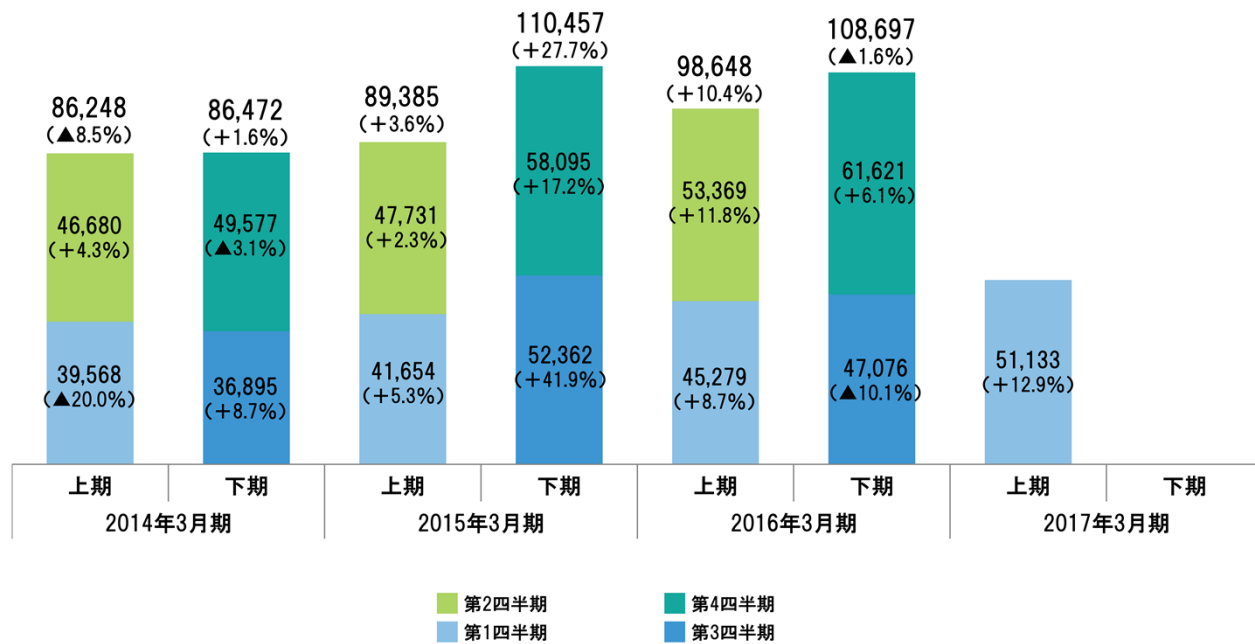
当期受注高・期末受注残・当期売上高は「ソフトウェア開発」に係るもののみ。

7

- ・次に、第1四半期の受注状況です。
- ・当期受注高は、事業環境が好調な中で、カード系が牽引した金融ITサービス、エネルギー系の好調が続く産業ITサービスとも積み上がり、前年同期比12.9%増の511億円となりました。
- ・8頁の経年推移をご覧いただいてもわかるとおり、第1四半期の受注高としてはかなり高い水準で考えています。
- ・また、これに沿って、期末受注残も740億円、前年同期比18億円・2.5%増となっています。

受注高の推移

(単位:百万円)



Copyright © 2016 TIS Inc. All rights reserved.

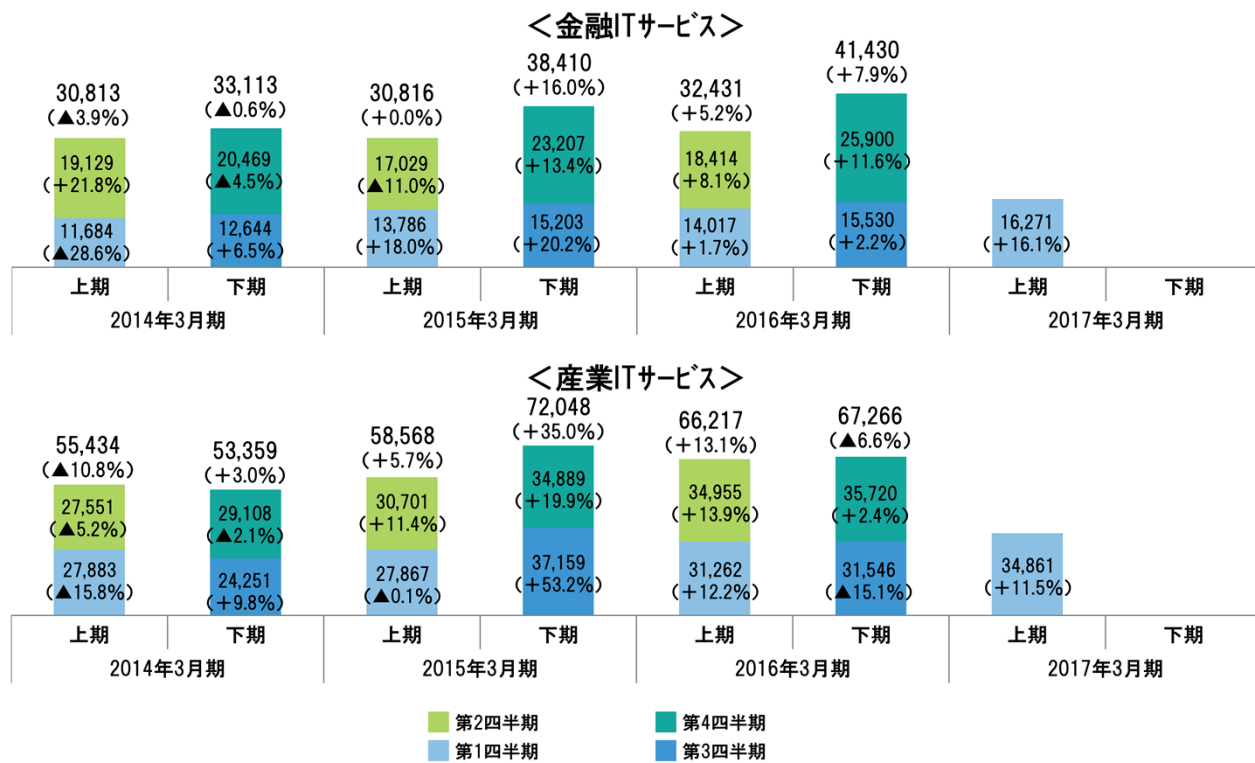
当期受注高は「ソフトウェア開発」に係るもののみ。カッコ内の数値は前年同期比増減率。

8

(説明省略)

受注高の推移

(単位:百万円)



Copyright © 2016 TIS Inc. All rights reserved.

当期受注高は「ソフトウェア開発」に係るもののみのみ。カッコ内の数値は前年同期比増減率。

9

(説明省略)

2017年3月期第1四半期 業績概要

2017年3月期 業績見通し

参考資料

(説明省略)

2017年3月期 業績予想ハイライト

(単位:百万円)

・前期比増収増益の計画。顧客のIT投資ニーズへの的確な対応による事業拡大や大型案件の着実な遂行を図るとともに、生産性向上や不採算案件抑制等、収益向上施策を推進。
⇒概ね計画に沿って進捗していることから、期初計画値の変更はなし。

売上高 390,000百万円

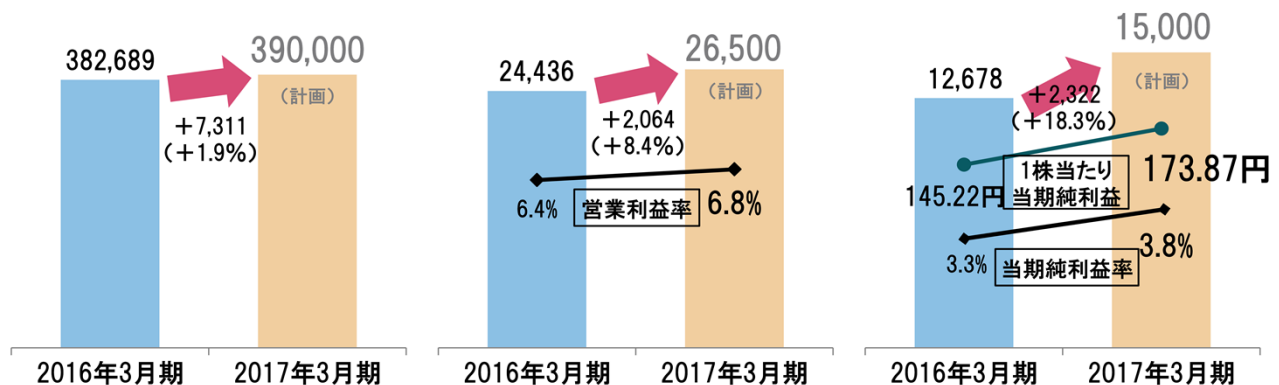
前期比 +7,311百万円(+1.9%)

営業利益 26,500百万円

前期比 +2,064百万円(+8.4%)

**親会社株主に帰属
する当期純利益 15,000百万円**

前期比 +2,322百万円(+18.3%)



顧客のIT投資ニーズへの的確な対応による事業拡大や大型案件の着実な遂行等により、前期比増収を見込む。

増収効果のほか、不採算案件抑制や生産性向上等、収益向上施策を推進することにより、前期比増益を見込む。

営業利益の増加等により、前期比増益を見込む。
※約21億円の自己株式取得に伴い、1株当たり当期純利益予想が向上。

Copyright © 2016 TIS Inc. All rights reserved.

11

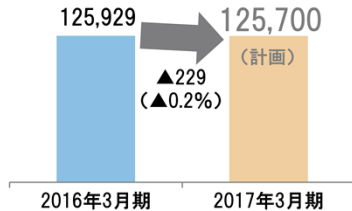
- ・最後に、通期業績見通しについてご説明します。期初計画からの変更はありません。売上高は前期比1.9%増の3,900億円、営業利益は前期比8.4%増の265億円、親会社株主に帰属する当期純利益は前期比18.3%増の150億円の計画です。
- ・第1四半期は好調でしたが、これに油断することなく、引き続き期初計画の達成に向けて邁進してまいりたいと考えています。
- ・なお、5月から6月にかけて、総額約21億円の自己株式の取得を行いました。これによって、期初計画値を前提とする総還元性向は35%となる見込みであり、1株当たり当期純利益の予想値も173.87円に向上する見込みです。

2017年3月期 主要セグメント別損益状況(予想)

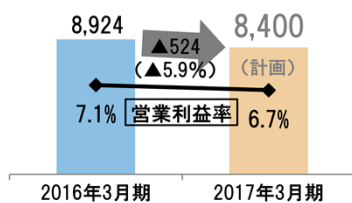
(単位:百万円)

<ITインフラストラクチャーサービス>

売上高 125,700百万円
前期比 ▲229百万円(▲0.2%)



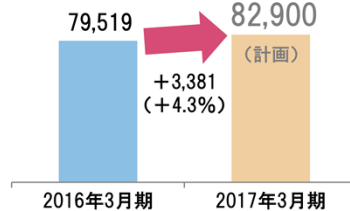
営業利益 8,400百万円
前期比 ▲524百万円(▲5.9%)



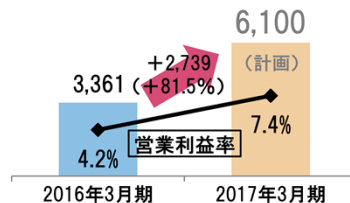
前期比減収減益計画だが、組織再編影響等によるものであり、実勢ベースでは前期比増収増益を見込む。

<金融ITサービス>

売上高 82,900百万円
前期比 +3,381百万円(+4.3%)



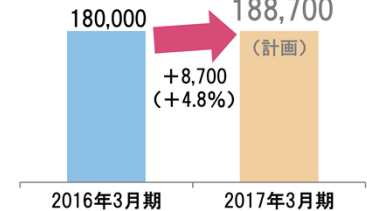
営業利益 6,100百万円
前期比 +2,739百万円(+81.5%)



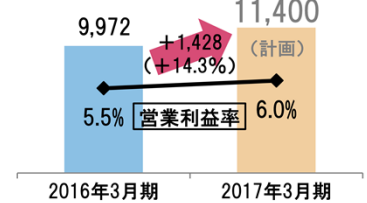
大型開発案件の寄与や不採算案件抑制等により、前期比増収増益を見込む。

<産業ITサービス>

売上高 188,700百万円
前期比 +8,700百万円(+4.8%)



営業利益 11,400百万円
前期比 +1,428百万円(+14.3%)



全体的なIT投資拡大に伴う成長に加え、不採算案件抑制や生産性向上等により、前期比増収増益を見込む。

Copyright © 2016 TIS Inc. All rights reserved.

各セグメントの売上高はセグメント間の売上高を含んだ数値です。

13

(説明省略)

2017年3月期第1四半期 業績概要

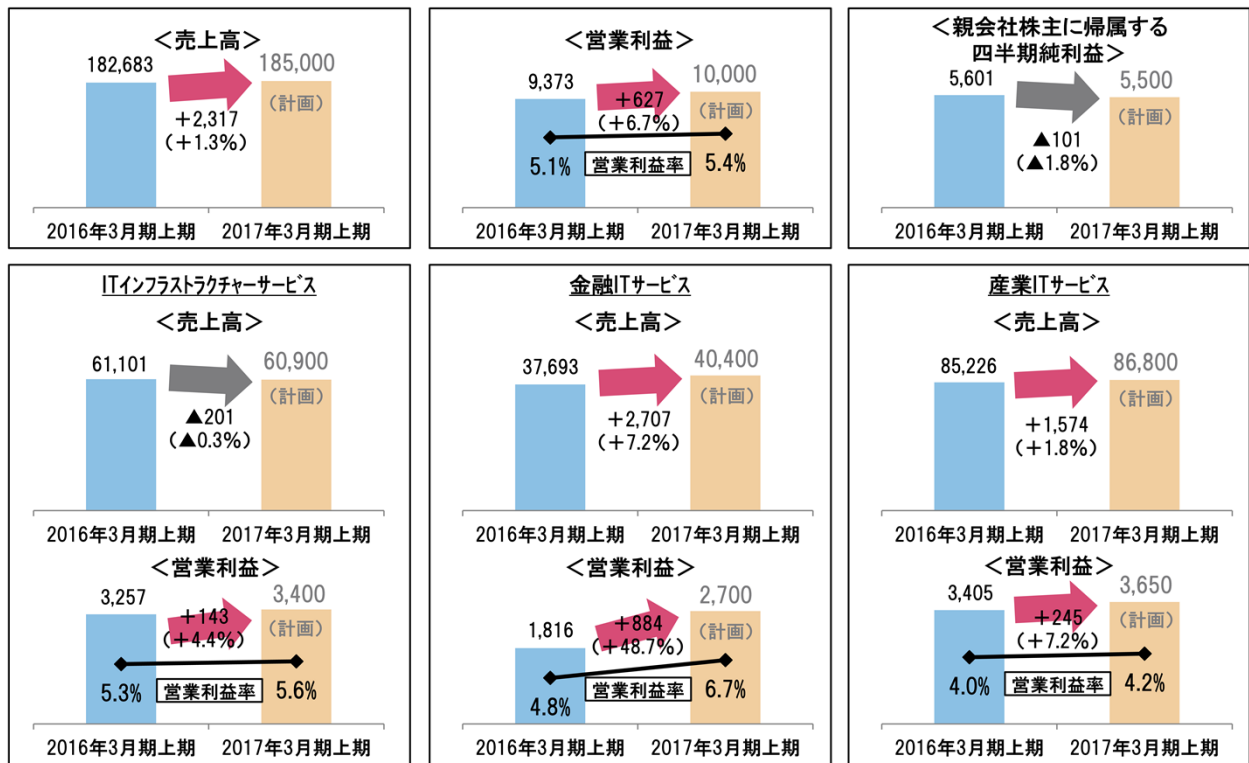
2017年3月期 業績見通し

参考資料

(説明省略)

2017年3月期上期 業績ハイライト・主要セグメント別損益(予想)

(単位:百万円)



Copyright © 2016 TIS Inc. All rights reserved.

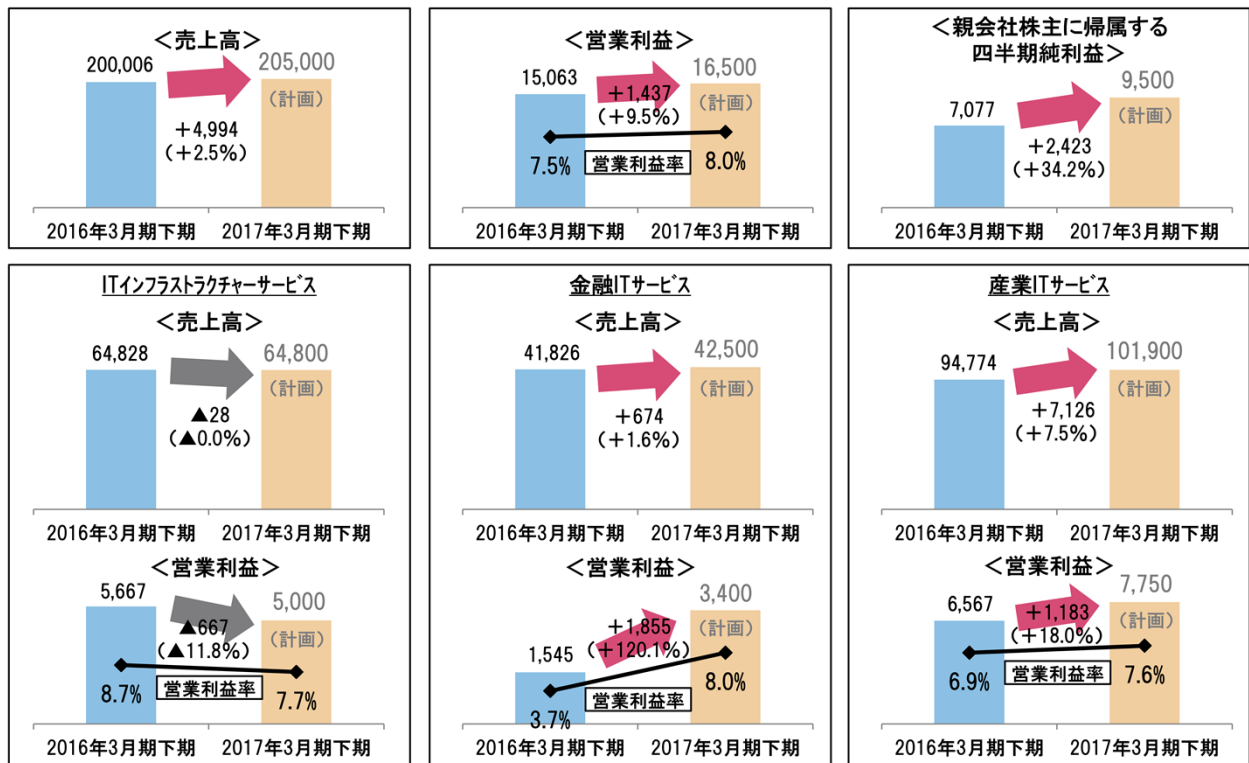
各セグメントの売上高はセグメント間の売上高を含んだ数値です。

15

(説明省略)

2017年3月期下期 業績ハイライト・主要セグメント別損益(予想)

(単位:百万円)



Copyright © 2016 TIS Inc. All rights reserved.

下期計画は通期計画から上期計画を控除したものです。
各セグメントの売上高はセグメント間の売上高を含んだ数値です。

16

(説明省略)

2017年3月期第1四半期 プレスリリース/お知らせ①

発表日付	タイトル
2016年4月1日	インテック、富山第一銀行へF3(エフキューブ)クラウドCRMを提供開始
2016年4月1日	連結子会社の人事異動および機務改正のお知らせ
2016年4月4日	アグレックスとベクスト、コンタクトセンター向け音声マイニングソリューションの導入・活用最大化コンサルティングサービスを提供開始
2016年4月5日	TIS、IoT技術を活用した「消費電力可視化サービス」を開始
2016年4月11日	ITHD人事異動のお知らせ
2016年4月18日	インテックと日本ATMによるATMチャネルを活用したサービスの共同検討について
2016年4月18日	TIS、ベンチャー企業へ投資する『コーポレートベンチャーキャピタル』を創設
2016年4月21日	スーパーマーケットの本部店舗間・店内コミュニケーションの現状調査を実施(ネクスウェイ)
2016年5月2日	連結子会社の人事異動のお知らせ
2016年5月9日	インテック、病理・細胞診検査業務支援システム「EXpath4」提供開始
2016年5月9日	ライト社、クオリカのシステム『CareQube(ケア・キューブ)』採用
2016年5月10日	自己株式の取得に係る事項の決定に関するお知らせ
2016年5月10日	定款の一部変更に関するお知らせ
2016年5月10日	TISとQUADRACが資本・業務提携契約を締結
2016年5月12日	インテック、「SuperStream Partner Award 2016」で「Sales Award」を受賞
2016年5月17日	IBM i と他プラットフォームで、シームレスなジョブ運用管理を実現する「Toolbox for JP1」を発売(ネオアックス)
2016年5月17日	TIS、タイの金融向けモバイルアプリケーション開発のリーディングカンパニー『PromptNow』を連結子会社化
2016年5月18日	アグレックス、難病患者向けコミュニケーション支援ツール「こころかさね」に生体信号データを利用したアプリケーションを提供
2016年5月23日	TIS、ITインフラのマネージドサービス『MOTHER』の機能を強化
2016年5月24日	TIS、最新EDIパッケージ「ACMS Apex」を採用したSaaS型EDIサービスの新バージョン『TEDIOS- II』を提供開始
2016年5月25日	ネクスウェイとドリーム・アーツ、チェーンストアの経営と現場のPDCAサイクルを支援する『店舗matic』最新版リリース
2016年5月25日	TIS、ユニテカの財務会計システム刷新を支援
2016年5月26日	ネクスウェイ、「医薬情報おまとめ便サービス」を日本薬剤師会様と協力し全国約55,000施設の薬局へ提供開始
2016年5月26日	マイクロメイツ、Office365のスムーズな導入を支援するOffice365の「かんたんユーザーサポートパック」をリリース
2016年5月27日	マルチプラットフォームのシステムを監視する「Toolbox システム監視」を発表(ネオアックス)
2016年5月30日	クオリカ、クオリカデータセンター(QDC)が提供するサービスについて、ISO認証2規格を同時取得
2016年6月1日	連結子会社の人事異動のお知らせ
2016年6月3日	平成28年熊本地震災害への支援について
2016年6月6日	ネクスウェイ、業界最安値水準 販促特化型DM印刷発送サービス A4ハガキ1通55円～、A4圧着ハガキ65円～『ゴーゴーDM』提供開始
2016年6月6日	自己株式の取得状況に関するお知らせ

Copyright © 2016 TIS Inc. All rights reserved.

17

(説明省略)

2017年3月期第1四半期 プレスリリース/お知らせ②

発表日付	タイトル
2016年6月6日	TIS、東京大学大学院の次世代個人認証 実証実験に参画し、認証情報データベース構築に『ブロックチェーン技術』を適用
2016年6月7日	連結子会社の人事異動のお知らせ
2016年6月8日	ネクスウェイとフィード、歯科医院向け再来診ハガキ印刷発送サービス「リコールハガキサービス」を提供開始
2016年6月8日	TIS、「Intra-mart AWARD 2016」で「Excellent Partner Award」を受賞
2016年6月13日	インテック、「MCFrame Award 2016」で通算11回目の「Partner of the Year」を受賞
2016年6月14日	クオリカ、保守・保全業務につながるIoTソリューション「CareQube+」をリリース
2016年6月24日	自己株式の取得結果及び取得終了に関するお知らせ
2016年6月24日	TIS、「Oracle HCM Cloud」などを組み込んだ 人事業務ソリューション『tisconnect HCM』の提供を開始
2016年6月27日	連結子会社の人事異動および機構改革のお知らせ
2016年6月29日	TIS、ハイパーコンバージドインフラの導入・運用支援サービスを提供開始
2016年6月30日	アグレックス、タイ現地法人とインテックのタイ現地法人の事業を統合し、社名をI-AGREX (Thailand) として新たに始動

(説明省略)



(ご注意事項)

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、TISインテックグループ(TISおよびグループ会社)が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。
- ・各四半期会計期間(3カ月)の数値は累計期間の差引により算出しています。

(説明省略)